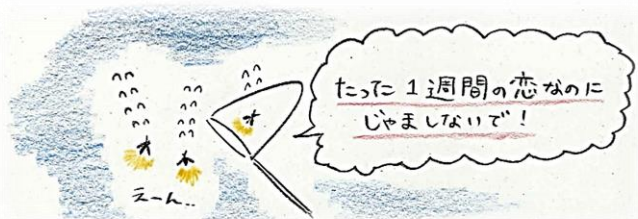


お願い

○ホタルは捕まえないようお願いします。



○園路から柵の外には出ないでください。

○ホタル観察をするときは、近隣にお住まいの方やほかの公園利用者の迷惑とならないようお願いします。

○虫よけスプレーを使用する場合は観察場に入る前に行ってください。

○懐中電灯をホタルや人、住宅地に向けないようお願いします。また携帯、スマートフォンの光も周囲を照らしてしまうので控えてください。



○自然観察ゾーンには駐車場がありません。利用拠点ゾーンにある駐車場（駐輪場）をご利用ください。



アクセス



小菅ヶ谷北公園について.....

小菅ヶ谷北公園は、**自然観察ゾーン**（湿地等）**散策の森ゾーン**（雑木林等）、**利用拠点ゾーン**からなる緑・自然が豊かな公園です。

自然観察ゾーンは、ホタルや野鳥など希少な動植物が豊富です。散策の森ゾーンは、雑木林やスギ林、竹林、草地等を活用した「里山の自然と景観」を有しています。利用拠点ゾーンは、バーベキュー施設・芝生広場。駐車場・管理棟を備えた身近な自然を満喫できる空間です。

お問い合わせ

小菅ヶ谷北公園管理事務所

☎ : 045-891-1151

HP : <http://www.kosugayakita-park.com/>

メール : info@kosugayakita-park.com

管理者: 奈良・生駒植木共同事業体

南部公園緑地事務所

☎ : 045-831-8484

小菅ヶ谷北公園のホタル

自然観察ゾーンでは主に『**ハイケボタル**』、『**ゲンジボタル**』が見られます。ハイケボタルは水田や池、湿原がある場所に生息します。ゲンジボタルは流れのある浅い小川に生息しています。共通することは、水がきれいな場所に棲みつくということです。わたしたちは、貴重な横浜のホタルの生息環境を改善・維持し、その他の多種多様な動植物にとっても良い環境を作っていくことを目指しています。



ハイケボタル



ゲンジボタル



～ホタルについて～

現在、小菅ヶ谷北公園周辺で見られるホタルは主に2種類います。ヘイケボタル、ゲンジボタルの2種類で、それぞれ生息環境や発光時期、エサ等が違います。多くの種類のなかでヘイケボタル、ゲンジボタルは幼虫時代を水中で生活し、カワニナやモノアライガイなどの巻貝を捕食します。



ヘイケボタル

●色・形・大きさ

全体的に丸く、背中黒、胸部の背中側が赤いがここにははっきりとした黒い筋が通ることからゲンジボタルと区別できる。

●生態・発生時期

6月中旬～8月にかけて各地の池や田んぼで見られる。ゲンジボタルと異なり、幼虫は湿地や田んぼなどの止水で生活する。ゲンジボタルが終了する頃から発生が8月頃まで見られる。発光はあまり強くなく、揺れるような光を出しながら飛ぶことがある。カワニナ、タニシ、モノアライガイ、サカマキガイ等を捕食する。

●色・形・大きさ

日本で見られるホタルの中で一番大きい。背中黒、胸部の背中側が赤くここにうっすら黒い筋が見られる。ヘイケボタルに比べ全体的に四角形で角張った体型。

●生態・発生時期

6月～7月にかけて流水のある小川で見られる。発生時期は約4週間で、発光は非常に強い。気温・地域などにより発光の間隔が変化し、オスは4秒間隔くらいで明滅する。カワニナを捕食する。



ゲンジボタル

ホタルの一生	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	幼虫		さなぎ	成虫	卵			幼虫				

水のきれいな場所にいる。

土の中にもぐってさなぎになる。

成虫はほとんど何も食べない。1週間ほどの命。

水辺のコケや草に卵をうめつける。約25日でふ化。

主にカワニナを食べる。カワニナはセリ等を食す。